

外国人から友達申請がきた あなたならどうしますか？ いわゆる「国際ロマンス詐欺」にご注意を！！ (第二十一弾)

最近ではスマートフォンなどの普及で、誰でも簡単にインターネットを利用できるようになり、面識のない人との交流が容易にできるT W I T T E R (ツイッター)やL I N E (ライン)などのSNS (ソーシャルネットワークサービス)が普及しています。

家族間の連絡にL I N Eなどを利用している方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、これらを利用した犯罪の被害にあわないため、SNS上でよくある詐欺の手口を説明させていただきます。

★ ある日突然、見知らぬ外国人や外国の王族などを騙る相手方から、SNS上で友達申請がされた旨のメッセージが表示されます。

申請を承認すると、相手方は自身の身の上を騙り(配偶者と死別した。離婚して子供を引き取った。子供の母親になってくれる人を探している。紛争地域で戦災孤児の保護活動をしているなど)同情や共感といった感情をあおり親密な関係性を築こうとします。

そして、ある程度親密な関係性が構築されると、トラブル解決のためなどと称して金銭の工面を要求するといった詐欺の手口です。

重要!!



<プロフィールに注意>

- ・写真は外国人(白人系の男性が多い)で外国の俳優や軍人などの画像を盗用しているものがほとんどです!
- ・独身又は離婚、配偶者と死別などと記載されることが多いです!
- ・妻と生き別れ、子供2人、高齢の母と同居しているなどと具体的な身上を記載している場合もあります!
- ・肩書にシリアやカブールなどの紛争地域に駐留する米国軍人、米国軍医師、エンジニア、自営業者などと記載されています!
- ・実在する外国の王族の名前を騙る場合もあります。

～裏面に続く～

<友達承認した後のやり取りに注意>

- ・最初はSNSを利用しますが、その後、メールや携帯電話でのやり取りを交える場合もあります。
- ・テレビ電話アプリを使用した通話には応じないか応じても調子が悪いなどと述べて画像を送ってきません。
- ・面識もないのに、短期間であたかも親友や恋人といった親密な関係性であるかのように振舞ってきます！（数日間で親密な関係であるかのように振舞う場合もあれば、数か月から1年間もの時間をかけて関係を築くこともあります）
- ・英語圏の国籍を名乗ることが多く、翻訳ソフトで日本語に変換しているような不自然な日本語を使う場合が多くあります！

<金銭を要求してきます>

- ・相手方が各種のトラブルに巻き込まれた旨述べ、これを解決するためと称して金銭（電子マネー等）を要求してきます。

トラブルの例

- 紛争国から持ち出そうとした現金がテロ資金と疑われ関税で差し押さえられた。
- 難病にかかった子供の治療費が足りず途方に暮れている。
- 海外で一時滞在中、急病になり手術を受ける必要がある。
- 商談が成立すれば高額の収入が得られるが、手付金が足りない。
- 航海中に海賊に襲われ離島に緊急寄港した。荷物を航空便で送るので預かってほしい。

金銭要求の例

- テロ資金でないことを証明するため国連に申請する必要がある、証明手数料及び代理申請料が必要である。
- 手術費用をすぐに送ってもらわないと死んでしまう。
- 明日までに支払わないとビジネスチャンスがつぶれる。
- 航海中で現金の持ち合わせがない。
- 「あなたの他に頼れる人がない」ということを強調する。

<現金振込先や送付先に注意>

- ・振込先口座の名義人がSNSでやり取りした相手方と異なる。
- ・振込先銀行が相手方の国籍とは違う国の銀行となっている。
- ・郵送先が相手方の国籍やSNSでやり取りした所在地と異なる。

このような外国人を名乗りSNSなどを利用して金銭を騙し取る手口は、国籍を超えた異性の恋愛感情を煽る方法が多用されることから報道機関などでは「国際ロマンス詐欺」などと呼んでいます。

外国人でなくともSNSで知り合った面識もない相手にお金を貸すことはやめましょう。返ってこない可能性が大了。

備えあれば憂いなし！困ったことがあれば相談、連絡しましょう！

智頭警察署 0858-75-0110
警察総合相談電話 #9110